

音楽を通して 島を越えた交流を ～ヨロン・おきなわ音楽交流祭～

12月23日 砂美地来館にて

今年第15回目を迎える「ヨロン・おきなわ音楽交流祭」が開催され、沖縄、与論の小中高、一般の15団体が参加し、吹奏楽や合唱などの音楽を通じて交流を図りました。那覇市立那覇中学校吹奏楽部の演奏で幕を開けた音楽祭は、各校次々に



音楽を通して、楽しい時間を過ごしました。

雨の中 熱戦繰り広げる ～玄岡旗争奪中学校親善野球大会～

12月24・25日 総合グラウンド、高校グラウンドにて

与論出身で、元ヤクルトスワローズ選手の玄岡正充さんにちなみ、昨年からの開催されている玄岡旗争奪中学校親善野球大会が、12月24日、25日の2日間で開催されました。大会には、沖縄、徳之島、沖永良部の中学校が来島し、与論を併せて計8チームが出場。時折冷



3位入賞の与論中学校野球部。お疲れさまでした！

「与論島における雑木を活用した家畜衛生向上への取り組み」家畜保健衛生業績発表会で表彰

九州大会進出！

島 元気な笑顔



県主催家畜保健衛生業績発表会で表彰を受けた、家畜保健衛生所与論町駐在の遠矢かおりさんに、雑木を活用した家畜衛生向上への取り組みについてお話しいただきました。

本土では当たり前のようにある「敷料」(牛のベッド)が与論には無く、どうやって衛生環境を向上させるかが赴任した時からの課題でした。

様々な縁に恵まれた結果、ゆんぬ敷料化ラフセンターで、島の植物を繊維状に揉んだ後、牛の敷料として使い、堆肥にして畑で使うという資源循環型の取り組みができました。実際に施設を建築し、運営しているのはおそらく日本で初めてではないかとされています(最先端!)。ラフセンターの敷料で、畜産ではケガや病気の低減・増体が、キビなどの園芸作物では豊かな土作り、増産・増収に繋がるものと期待されており。また、伐採した木々をそのまま横断しておくのではなく、利用することは景観面においても観光の島として有益だと考えています。島にあるものを有効に有益に使用して、昇り龍の様に島全体が良くなることを祈っています。

今回の取り組みを県で発表したところ、2月に福岡県で開催される九州大会に進むこととなりました。これもひとえに皆様のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

文化探訪プロジェクト 「古き良き与論島を探して」



鹿児島県ふるさと雇用再生特別基金事業を受け、NPO法人ヨロン島・尊々我無のみなさんが、城を中心とした町内の文化財施設の整備や植栽、文化財マップの作成などを行い、島の新しい魅力の発見に取り組んでいます。

文化探訪プロジェクトで、どのような活動をされているのですか？

埋もれかけた古道や、昔のシヌグ道(場所)や名所旧跡など、特に城跡の木の伐採、草取り、清掃などを行っています。最初は城の文化的な所を中心に。2年目には、思わぬところに光を入れることで、新たな島の発見にも繋がりました。

実際に活動をされる中で、感じられたことを教えてください。

活動を通して、今まで自分たちが知らなかった島の歴史、特に先人たちの生活した足跡を、少しでも知ることができました。与論町には多くの史跡がありますが、時間が経ち過ぎていたり、草や木に埋もれていたり、崩れている石垣なども多くあります。

もっと積極的に補修などを行い、観光客や島民にアピールするべきだと思います。一方、整備をしている中で、目につくのがゴミ。不法投棄された大量のゴミを目にし、悲しい気持ちになりました。環境問題は島の人にとっては考えていたかったです。

あなたにとっての島の魅力を教えてください！

海も美しいですが、緑豊かな静かな風景、神話に出てくるような絶景も沢山あると思います。また、人々の絆も強く感じます。失われた昔の風景や、海の中を見るときさびしいが、変わらぬ人情があるからいいのです。

海に囲まれた小さな島、その島で頑張っている人達。もっと知りたいと思われるところに魅力を感じるようになっていきました。



昨年10月に行われた史跡案内人養成講座。昔の民家跡などの見学も行われました。